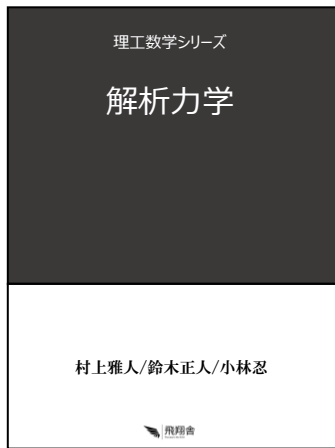


理工数学シリーズ、第6弾

解析力学

本体2,500円+税 / A5判・並製 / 290 頁

大学で習う理工系の科目で、最も難解だと言われる解析力学。本書では、ラグランジアン L やハミルトニアン H の応用例を示し、解析力学が立脚する変分法をわかりやすく解説。ニュートン力学があるのに、なぜ、解析力学が必要なのか？ その答えが分かる。



気な解
づ析
か、力
さ、学
される。人が、
の所難
産解
でも
ある無
こと用
にも

2点間を結ぶ曲線に沿って物体を落下させたときに、所用時間が最短となるのが最速降下曲線。この曲線形状を求めるのが変分法である。

解析力学の基本は変分法にある。

物体は、ある物理量を最小にする経路を選んで移動する。それが最小作用の原理である。

抽象的であるからこそ、量子力学の建設に寄与した解析力学の魅力を実感できる。

《著者紹介》

村上雅人

元芝浦工業大学学長 工学博士

日本数学検定協会評議員/理工数学研究所所長

鈴木正人

理工数学研究所 主任研究員

小林忍

理工数学研究所 主任研究員

式の導出過程をいっさい省略しない

高度な数学手法には、
詳しい補遺を付記

読者をじっくりと理解へ導く

ご注文FAX **03-5390-2213** (銚谷書店) 返品条件付き：返品時は版元了解が必要です

銚谷書店を通じて、全ての取次番線での手配が可能です

書店印・番線印	ご注文数	ご注文日	
ご担当者名 ()	冊		解析力学 村上雅人/鈴木正人/小林忍 著 ISBN 978-4-910879-13-0 C3042 本体2,500円+税 / A5判・並製 / 290頁 出版 飛翔舎 (取引コード：7150)